

競技注意事項

1 競技規則について

踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについては競技規則TR5.2を適用除外とする。

2 招集について

- (1) 招集場は、100m スタート側のトイレ付近に設ける。
- (2) 手順
 - ① 招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。トラック種目出場者は、招集開始時刻までに自分のレーンナンバーを確認して、腰ナンバーを右腰のやや後方につけておくこと。腰ナンバーは招集場で配布する。招集時には、アスリートビブス（各自の登録番号）とスパイクピン等の確認を受ける。
 - ② 但し、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、第1種目の招集の前にその旨を競技者係に申し出ること。また、競技については本人がフィールド審判に申し出て、トラックの方を先に行うこと。
- (3) 招集完了時刻に遅れた競技者は出場する意志がないものとみなし処理する。
- (4) 招集時刻は下記による。なお、種目別の招集開始時刻/完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

種目	開始時刻	完了時刻
トラック競技	25分前	20分前
フィールド競技	35分前	30分前

(5) リレー種目

- ① リレー種目のオーダー用紙は、受付時に手渡しする。選手変更の有無にかかわらず招集完了時刻の1時間前までに競技者係(招集場)に提出すること。オーダー用紙の提出がない場合は、欠場したものととして処理する。
 - ② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(2)の②に準ずる。
 - ③ リレーメンバー以外から起用する場合は、必要事項を忘れずに記載すること。
- (6) すべての種目において、やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに招集場にある欠場届に必要な事項を記入し、競技者係に提出すること。

3 競技進行について

- (1) スパイクのピンは11本以内とし、ピンの長さは9mm以下で、ピンの直径の先端は少なくとも長さの半分が4mm四方の定規に適合すること。但し、走高跳・やり投については12mm以下とする。なお、ニードルピンの使用を禁止とする。
- (2) アスリートビブスは配布された大きさのままユニフォームの胸部と背部につけること。但し、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでよい。
- (3) 競技区域内(招集所内含む)に携帯電話・スマートフォン・タブレット等のデバイス機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は、失格の対象となる。ただし、フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技の映像見る場合は、コーチ席付近であれば録画再生機器等を手にとって操作するために競技区域に持ち込むことは認める。
- (4) トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (5) リレーのユニフォームは上着を統一すること。
- (6) 男子5000m及び女子3000mは、上・下級同時スタートとする。(別ナンバー着用)

(7) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

男子	走高跳	(1m50・1m70)	1m55	1m60	…	1m85	1m90	1m93	…
	棒高跳	(2m00・3m60)	2m00	2m20	…	2m80	3m00	3m10	…
女子	走高跳	(1m20・1m40)	1m25	1m30	…	1m45	1m50	1m53	…
	棒高跳	(1m60・3m00)	1m50	1m70	1m90	2m00	…		

※1位決定の試技は走高跳2cm・棒高跳5cmとする

(8) フィールド競技の試技は3回とする。(ただし、走高跳、棒高跳は除く)

4 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。
- (2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己のものを使用してもよい。なお、やりの検査は競技開始1時間前までに本部倉庫前で行う。

5 その他

- (1) 指定された時間以外のウォーミングアップは、補助競技場(サブ・グラウンド)で行うこと。ただし、投てきの練習は、招集完了後、役員の指示により競技場内で行うので、補助競技場での練習は行わないこと。また、跳躍の練習も役員の指示に従うこと。
- (2) 応援はフェンス外側またはスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。(トラック競技のスタート直前は注意すること。)
- (3) 競技中に起こった怪我については本部で応急処置のみ行う。
- (4) スタンド等で使用した場所は、各校で責任をもって清掃し、ごみはすべて持ち帰ること。
- (5) 本部席前は通行を禁止する。許可されたもの(補助員)以外は通らないこと。また、審判長、総務、アナウンサー前での助言は競技会運営に支障を来すため行わないこと。
- (6) テントの設置は芝生エリア(競技場側のみ)、旗・横断幕の貼り付けは、競技場外側フェンスとする。
- (7) 公園内・補助競技場(サブ・グラウンド)では、メディスンボール、チューブ等の使用を禁止する。トラック上に競技場備え付けの用具以外設置してはいけない。
- (8) メイン競技場全体を使つての練習については、準備完了後から8時55分までとする。
- (9) メイン競技場バックストレート(1500mスタート付近から水濠障害までの芝生を除く区間)を使つての練習については、400m終了後(11時00分ごろ)から12時20分までとする。ただし、バトン以外の用具を用いたウォーミングアップは行わないこと。(競技進行中であるため、競技の進行を妨げることがないように注意すること)

気象状況

時刻	天候	温度	湿度	風向	風速
10:00		℃	%		m/S
11:00		℃	%		m/S
12:00		℃	%		m/S
13:00		℃	%		m/S
14:00		℃	%		m/S
15:00		℃	%		m/S